

なんなんのお話し会

目の前に広がる 絵本の世界



2月21日 「馬頭琴朗読会&モンゴルの音楽をあなたに」と題した「わくわくお話し会」が南部図書館で行われました。

当日は、朗読劇団「和楽座」座長の平原永理子さん（内船）による「モンゴル民話 スーホの白い馬」の朗読会と東京のライブハウスで活躍中の竹内由美子さんが「馬頭琴」の演奏をしてくれました。会場に入りきれないほど集まった参加者は、体全体を使って表現する朗読と寂しげな馬頭琴の音色に引き込まれ、目を潤ませながら聞き入っていました。

馬頭琴

モンゴルの遊牧民の間に古くから伝わる、二弦からなる擦弦楽器。弦は馬のしっぽの毛を束ねたもので、馬の毛を張った弓で弾く。モンゴル語ではモリン・ホール、馬の楽器と呼ばれる。

話題満載

町産木材のブランド化

誇り高き なんぶの木

南部町森林組合が生産する町内産の杉材・ヒノキ材が「南部町の木」として、平成21年1月16日付けで特許庁の「地域団体商標」に登録されました。

県内では「やはいも」や「甲州手彫印章」について3件目となります。昔から町の主要産業であった林業。最近では外国産材などの輸入により需要が減少し、林業への魅力が薄れてきているのが現状でした。しかし、今回の「ブランド化」により、南部町の林業にも新しい風が吹き始めることを期待しています。



生涯学習フェスティバル

「学び」を学び 「導く」を学ぶ

2月22日 「生涯学習実践の輪をひろげよう」をテーマに「平成20年度南部町生涯学習フェスティバル」が行われました。

開会行事で佐野教育委員長が「生涯学習の趣旨に即し、交流の場となっておりこのフェスティバルへ、毎年大勢の方に参加していただき、本当にありがたい。」と主催者のあいさつをしました。また、「家庭の日」「青少年を育む日」の標語・作文・ポスター入賞者に表彰状が贈呈されました。続いて若林初夏さん（睦小3年）と若林亜弥さん（富小6年）の作文発表、また防犯弁論大会最優秀賞の近藤葉月さん（南中3年）と交通安全弁論大会最優秀賞の望月文乃さん（万中1年）の弁論発表、そして、井出分館・徳間分館の実践発表が行われました。

最後に、女子柔道で有名な山口香さん（筑波大学准教授）をお招きし「私と柔道 ～意志あれば道あり～」と題した記念講演が行われました。講演では、「これから海外に通用する選手とは、しっかりとしたしつけを基本に、思考能力・判断能力を身に付け、挑戦



できる選手である。」「指導者とは、自分の考えを押し付けない。待つてやることが大切だ。」と引退後指導者として学び得た経験を分かりやすく、テンポ良い口調で古賀選手のコメダール獲得裏話など、涙をこぼす話から笑いまで、とても貴重なお話をしていただきました。

野球で交流

スポ少野球の春来る

3月1日 「第26回南部町交歓少年野球大会」がアルカディア野球場などを会場に、県内の16チームが参加して行われました。

この大会は、新チームの「力試し」と「交流」を深める大会で、県内の少年野球の開幕大会として行われているものです。試合に先だって行われた開会式では、選手を代表して睦合スポーツ少年団主将の樋口真也さんが元気に選手宣誓をし、どのチームも、持てる力を十分に発揮して試合を行っていました。



憧れのプロ選手 あのプレーの動き

昨年12月27日 万沢出身のプロ野球選手大島崇行さんが、富沢球場で町内のスポーツ少年団の子どもたちと汗を流しました。

これは、大島選手の自主練習に合わせて行われているもので、毎年子どもたちは楽しみにしています。当日は、「現役のプロ野球選手に会える。」と、50人ほどの子どもたちが集まり、野球の基本練習などを行いました。鍛え抜かれた大きな体、パワー・スピード、全てが子どもたちには驚くことばかりで、大島選手の動きに目を丸くして注目していました。

皆さん大島選手を目指してこれからも頑張ってください。



広報 なんぶ

編集：南部町役場 総務課

URL <http://www.town.nanbu.yamanashi.jp/>

山梨県南巨摩郡南部町富士28505番地2
TEL(0556)66-2111 FAX(0556)66-2190